

熊本自民



山本 浩之議員

質問1

地域商店街の活性化

コロナ禍における地域商店街への支援策について、具体的な取り組みは。

答弁

プレミアム付商品券事業や空き店舗対策事業を実施しており、今後も状況を見極めつつ、実情に即した効果的な支援を実施していく。

質問2

令和7年度全面開業予定の熊本競輪場

熊本競輪場再開の起爆剤として、特別競輪であるG1レースの招致のようなイベントについての見解は。

答弁

熊本地震からの復旧・再建を全国にアピールする絶好の機会であり、全面開業予定の令和7年度に特別競輪を招致できるよう努める。



自民党



齊藤 博議員

質問1

飲食事業者の国民健康保険料の減免見直しを

新型コロナウイルス感染症の影響による、飲食事業者で時短要請協力金受給者の国民健康保険料減免見直しについて問う。

答弁

保険料の減免は国の基準に基づき実施している。別途、本市独自の減免制度もあるため、まずはご相談いただきたい。

質問2

AIデマンドタクシー<sup>(※2)</sup>の実証実験第2弾

実験対象地域に、長嶺中学校・錦ヶ丘中学校校区を中心とした周辺地域及び天明地区周辺を選定した理由。

答弁

子育て世代の支援を図る観点から児童生徒数や学習塾などが多い地域と、南区の中で高齢化が進んでいる地域を選定した。



共産党



上野美恵子議員

質問1

反社会的集団「統一教会」との関係は断絶を

統一教会は、霊感商法などの違反行為を長年続け、行政・議員と癒着。反社会的団体と認識し、関係を断絶すべき。

答弁

本市としては、個別の団体を指定した上でということではなく、反社会的な団体全般との関わりを持つべきではないと考える。

質問2

不公正な検証、借金を増やす庁舎整備は中止を

耐震評価を行った業者へ委託した検証は公正を欠く、市民一人約70万円の借金をさらに増やす庁舎整備は中止を。

答弁

有識者会議で建て替えの是非を含めご審議いただいており、その審議結果などを踏まえ、適切な時期に本市の考え方を示したい。



公明党



吉田 健一議員

質問1

本市の視覚障がい者へさらなる支援拡充を

視覚障がい者への支援がまだまだ足りない。歩行訓練士の確保や支援施設の設置など、さらなる支援拡充を。

答弁

歩行訓練士の養成への支援や支援施設の設置など、視覚障がい者への支援拡充は、他都市の状況などを今後調査研究していく。



質問2

土木センターの要望書データ化など改善を

全区土木センター宛ての要望書の様式統一化や、本市HPから要望書のデータ入手など、要望書関連の改善は。

答弁

再度のご指摘後、統一様式を作成し運用しており、ホームページ掲載や掲載場所などが利用者に分かりやすくなるよう構成の改善も図る。

市民連合



田上 辰也議員

質問1

市長は市電延伸の方針を明確に示してほしい

市電延伸の議論は、コロナ禍により止まっている。市民の要望も強い市電延伸について明確な今後の方針を。

答弁

コロナ禍による影響や変化を踏まえた公共交通の在り方の中で内部検討を進めながら、適切な時期に議会での議論を再開したい。



質問2

女性リーダーの育成に対する取り組みを

日本のジェンダーギャップ指数<sup>(※3)</sup>は世界で最低のレベル。政治と経済の分野でも活躍できる女性の人材育成を。

答弁

女性登用の推進は急務と認識している。リーダーとして活躍する女性人材の育成や、女性の活躍を応援する環境づくりに取り組む。

熊本自民



北川 哉議員

質問1

災害時の支援物資供給体制整備の必要性

物資集配拠点候補の設定とその開設方法や受け入れ準備、入出荷レイアウトなどをマニュアル化する考えは。

答弁

運営マニュアルを整備しており、今後、入荷・出荷のレイアウトなどについても追加するなど、より効果的・効率的な運用を図っていく。



質問2

新型コロナウイルス感染症の感染症分類

ひっ迫状況を鑑み、保健所業務や医療体制、経済の再生なども含め、感染症分類についての市長の考えは。

答弁

オミクロン株の特徴から、社会経済活動とバランスを図りつつ、感染症法上の位置づけについて議論を進めることが重要と考える。

市民連合



村上 博議員

質問1

里親の養育にフォスタリング機関<sup>(※4)</sup>の増設を

児童虐待で心に傷を負った子どもたちが、健やかに育つ環境・里親を増やすフォスタリング機関増設への認識は。

答弁

質の高い里親養育の実現に向け、フォスタリング機関が機能を十分に発揮できるよう、体制の充実など必要な対応を進めていく。

質問2

外来種の魚と水草から江津湖の生態系を守る

市民の憩いの場である江津湖に繁茂している水草や、外来種の魚を除去し、江津湖の生態系を守る取り組みを。

答弁

市民団体などと連携し、引き続き外来生物の除去に取り組むとともに、生態系保全のさらなる周知啓発を行い、自然環境を守っていく。



おしえて  
ひごまる

- AIデマンドタクシー<sup>(※2)</sup> …… AI技術を活用し、利用時間や目的地が異なる複数の利用者予約に対して、効率的な運行ルートを選出し、1台の車両に複数の利用者が乗り合わせることができるタクシー。
- ジェンダーギャップ指数<sup>(※3)</sup> …… 教育・経済・保健・政治の4分野で構成された各国の男女格差を数値化したもので、男女平等格差指数とも呼ばれる。日本は146か国116位で、特に政治・経済の分野で極めて低い数値となっている。
- フォスタリング機関<sup>(※4)</sup> …… 実親と暮らせない子どもの里親への委託を推進するため、里親のリクルート、アセスメント、里親への研修、子どもと里親のマッチング、委託中の養育の支援、委託終了後の支援に至るまでの包括的な支援を行うための機関。